



全戸対象の防災訓練を実施 !!

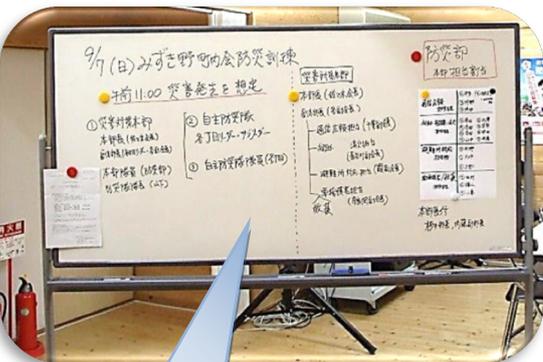
早朝からの雨の中、9月7日(日)全戸参加の防災訓練を実施しました。
ご協力を頂き感謝申し上げます。

訓練1:安否確認訓練(全戸対象)

朝11時に災害発生(発災)を想定。安全が確認されたお宅は「白いタオルなどの布」を外から見える所に結んで貰いました。各丁目指揮所(近隣公園)に“町内会名入りの黄色いベスト”を着た自主防災隊員が集結した後、各戸確認のため町内隅々に走って行きました。隊員は指揮所で丁目リーダーに結果報告、丁目リーダーは隊員の結果回収後、災害対策本部に集合し、集計を行いました。

雨の影響でしょうか、今回“5割強”の会員の参加でした。(前は9割近くの参加)

訓練2:災害対策本部の立上げ訓練(町内会本部及び防災部)



部門役割を対策本部に掲載

発災後、みずき野集会所に災害対策本部(本部長:佐々木会長)を立ち上げました。今回、本部と指揮所丁目リーダーとの間で、トランシーバーを使い、訓練の進捗状況などの確認交信を実施して、良好な交信が出来ました。

リーダーの集計作業



消防署の巡視に応じて



町内会名入りベスト着用

今後は平常時からの準備、防災倉庫の設置、防災機材の整備を予定します。また、丁目単位の消火訓練や避難訓練の実行を推進してまいります。災害は、平日・祝日、昼夜、天候を選びません。防災意識の向上を図るためにも、

“皆様、自主防災隊へご参加ください！”

(山下 勝博)



おとな同窓会



集まれ若者 おとな同窓会

■守谷 ■みずき野地区で7月、若者世代を対象にした「夏祭り・おとな同窓会」が開催された。住民の高齢化が進む中で、若者が集まる機会を作ろうと、みずき野町内会長、佐々木保昌さん(66)が企画したイベントだ。

みずき野地区は約30年前に新興住宅地として開発され、約2000世帯が暮らす。町内にはシニアクラブや子供会はあるが、その中間層が集まる場があまりなかった。佐々木さんは「故郷の祭りに参加するため帰って来なくなる

敬愛塾しそくに話をする参加者



＊タウンリポーターのコーナー

街にしたい」という。この計画に東京都の大学院で建築を学ぶ辰巳弘太さん(26)と友人たちが賛同、辰巳さんは同窓会の幹事を引き受けた。フェイスブックなどで同世代に呼びかけ、当日は20、30世代の約50人が参加。母校でもある郷州小学校を会場に、かつて学んだ教室や職員室で盛んに記念撮影をしながら思い出話に花を咲かせた。

辰巳さんは「来年はもっと楽しい内容を考え、たくさんのお客生に出をかけた」と話していた。(高橋勇江)

2014年8月29日(金) 読売新聞 朝刊の茨城版に掲載
本記事は読売新聞社の許諾を得て転載しています。



郷州小学校・体育館にて

「おとな同窓会」は今年が初めての試みでしたが、世代を超えて50名もの方々が交流するイベントとなりました。町内会をはじめ協力していただいた方々に感謝申し上げます。守谷はとても魅力的な街ですが、私の世代で「守谷がふるさと」という感覚を持っている人は少ないかもしれません。参加者が守谷で育ったという誇りや、同郷の繋がりの大切さを感じられる機会となるよう、今後はさらに良い企画を考え、そして次の世代に繋がるイベントにしていきたいと思います。(幹事:辰巳弘太)

9月13日
(土)開催!

暑気払いの集い



8月の「夕涼みの集い」同様、みずき会の協力で恒例の「生ビール、たこ焼き」に加え「おでん、ポップコーン(共に新登場)他」の販売コーナーがオープン。町内放送して回ったことも功を奏してか、開始直後から上々の出足となり100人を超える参加者で賑わいました。「フラダンスサークル・ワイキキ」の皆さんの歌と踊りが始まったときには、これぞ真のサプライズと大変な歓声と拍手が沸き起こりました。ワイキキの皆さんにも「楽しく踊れた」と喜んでいただけたとのことです。今年の夏の終わりに相応しい「暑気払いの集い」となりました。

(霞 隆男)



夏休み限定

ミニ寺子屋の開催



みずき野集会所にて、5日間の短い期間ではありましたが夏休み宿題サポートを中心に開催いたしました。算数や国語のワーク、書道にポスターや工作、野鳥や植物の自由研究と盛りだくさんの内容でしたが延べ105人の子供たちが町内会の有志の先生方からたくさんのご指導を頂きながら一生懸命取り組んでいました。たくさん笑顔が見られ充実した日々となりました。

(育成会 齊藤 聖子)



文化財公園にての植物の観察

ノルディックウォーキング



日程、集合場所、時間は次の2コースあります。

◆Aコース 毎週火曜日、午前8時～10時、みずき野集会所前集合

◆Bコース 毎週火曜日、木曜日、土曜日、午前8時30分～9時30分、さくらの杜公園集合

特徴は誰でもできる、無理のないスポーツです。ポール(杖)を使用し歩行するため脚部や腰などの負担が軽減され、長時間の歩行も可能で姿勢が良くなり綺麗な歩き方になります。最近ではリハビリにも使用されスポーツのみだけでなく、色々の分野で活用されているようです。現在会員の方々は守谷市のまだまだ多い自然の中で会話をしながら、楽しくウォーキングをしています。会員の方々のウォーキング中に出会って、歩く様子をご覧になりました方も居られると思いますが、肩～つま先迄の全身運動になります。スポーツの季節になり、これから運動不足で何かしようと考えている方には是非お勧めです。御希望の方には予備のポールも用意してありますので、気軽に参加をお待ちしています。インストラクターが数名いますので初めての方も安心して参加出来ます。

連絡先: 長嶋 TEL080-5003-9650 (長嶋 輝修)

朝の散歩のついでにラジオ体操はいかがですか。4年半程前から中央公園で始めたラジオ体操は、現在25名程の方々の参加を得て毎朝6時30分から10分間行っています(年中無休・雨天中止)。最初の2年間は1人でやっていましたが徐々に人数が増えてきました。この夏は子供会と町内会の協力のもと、子供達とのラジオ体操を5日間実施出来ました。朝早くから起きだしての体操は辛い方もいるようですが、一日のリズムの調整にも役立っている事と思います。全身の筋肉ストレッチと関節の可動範囲を広げ身体の姿勢矯正にも役立っています。また、今まで顔を会わせる機会の無かった方々との出会いも生まれています。参加は自由、会費等はありません。

連絡先: 服部 博・電話48-4773

(服部 博)

サークル紹介

ラジオ体操





オレンジ色のサポーターリング（プレスレット）



9月21日(日)10時から郷州公民館にて、在宅介護支援センター「やまゆり」の原 幸子さんを講師にお招きし「認知症サポーター養成講座」が開催され、29名の方が参加されました。

認知症は65歳以上の10人に1人が発症するといわれており、みずき野でも身近な問題です。講座の内容は大きく2つです。一つ目は「認知症を理解する」ということで、認知症の症状や認知症の人に接する時の心構えなどがわかりやすいスライドで説明されました。二つ目は、バスの中で困っている認知症のおばあさんにどう声を掛けるかと言うロールプレイングゲームですが、いざとなると中々難しいものです。大切なことは相手の自尊心を傷つけないようにするという事だと感じました。参加者の皆さんも今まで漠然と考えていた認知症に関する認識が少し深まったのではないのでしょうか。最後にオレンジ色のサポーターリングを腕にはめ集合写真を撮りました。これは守谷市のホームページに載る予定です。

(梅村 良)

みずき野ガーデン

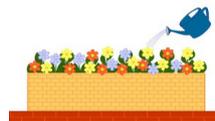


関鉄バス待機所の交差点に今春オープンした「みずき野ガーデン」が彩り豊かな草花で道行く人の目を楽しませています。元々は雑草で見通しの悪かった一画。6丁目の花好きの方々が中心となり、市の里親事業の助成を受けて、季節感あふれる花壇づくりを進めています。まだ試行錯誤とのことですが、乾燥を防ぐために落ち葉を敷き詰めるなど、様々な工夫がされています。秋に向けて一部植え替えも行われる予定で、今から楽しみです。花壇の手入れは毎週木曜日の午後4～5時(季節により変動あり)。一緒にお手伝いいただける方、是非お立ち寄りください。

(北川道子)



素敵な看板が花壇を一層引き立てていますね。



1,000株近い草花の植栽プラン作りから、日ごろの水やり、雑草とり、施肥、花がら摘みまで、欠かせない作業がたくさんあります。

編集後記

1ページ目先頭の町内会だよりロゴは秋の代表的な花、コスモスで飾りました。夏まつり以降、様々な世代を参加対象とするイベントが行われています。サークルや環境美化活動も活発です。本号でそれらの一端を紹介しました。(奈良岡賢逸)